

令和6年6月6日
山口県病害虫防除所

果樹カメムシ類の発生状況と防除対策について

果樹カメムシ類の発生は、4月23日の注意報発令後も多い状況が続いています。カンキツ、ナシ等を中心に被害が発生するおそれがあるので、防除対策を徹底してください。

1 対象作物 果樹全般（カンキツ、ナシ、モモ、リンゴ等）

2 病害虫名 果樹カメムシ類

（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）

3 発生状況

- （1）予察灯（県内3か所、5月1日～5月31日合計）における誘殺数は376頭（年平均61.0頭）で平年に比べ多かった（図1）。
- （2）フェロモントラップ（県内4か所、5月1日～5月31日合計）によるチャバネアオカメムシの誘殺数は1,265頭（年平均250.2頭）で平年に比べ多かった（図2）。
- （3）スギ・ヒノキの花粉飛散量が平年に比べ少なかったことから、果樹カメムシ類の主要な餌となる球果量は少ないと予想され、果樹への飛来が多くなることが危惧される。

4 今後の予想（越冬世代成虫）

- （1）発生量 多
- （2）発生時期（飛来時期） 6～7月

5 防除対策

- （1）果樹カメムシ類の飛来時期や量は、地域や園地による差が大きいため、果実が存在する園地では昼間に定期的に確認し、カメムシ類の飛来を確認したら速やかに農薬の散布を行う。
- （2）夜間に園地内または園地周辺の外灯等を観察すると飛来状況を確認しやすい。
- （3）カンキツでは、幼果時期にも吸汁被害が発生することがあるため、6月下旬～7月上旬に園内への多飛来を確認した場合は速やかに防除を実施する。なお、今年は着果量が少ない傾向であるため、特に注意する。
- （4）ナシやブドウ等の袋掛け栽培では、果実が吸汁されないよう大袋掛け等を早め実施する。
- （5）薬剤を散布する際は、別表「カメムシ類に登録のある主な薬剤」を参考に行う。
- （6）薬剤散布後は残効期間を目安に園内を観察し、再度飛来を確認した場合は、追加

の散布を行う。

(7) 施設栽培等では、防虫ネット（網目4mm以下）を設置することで、侵入を防止する。また、設置済の場合もネットの破損がないか点検し、破損している場合は速やかに修繕する。

(8) 無袋栽培（ナシ等）では、地域一斉に薬剤散布を実施すると防除効果が高まる。

6 防除上注意すべき事項

(1) 本年は、果樹カメムシ類の防除回数が多くなると予想されるため、薬剤選定をする際は薬剤成分ごとの使用回数に留意する。

(2) 薬剤散布の際は、農薬使用基準を遵守し、周辺作物への飛散を防止するとともにミツバチ等に危害を及ぼすことがないように十分注意する。

(3) 今後の農作物病虫害発生予察情報を病虫害防除所のホームページなどで確認する。
(<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22321.html>)

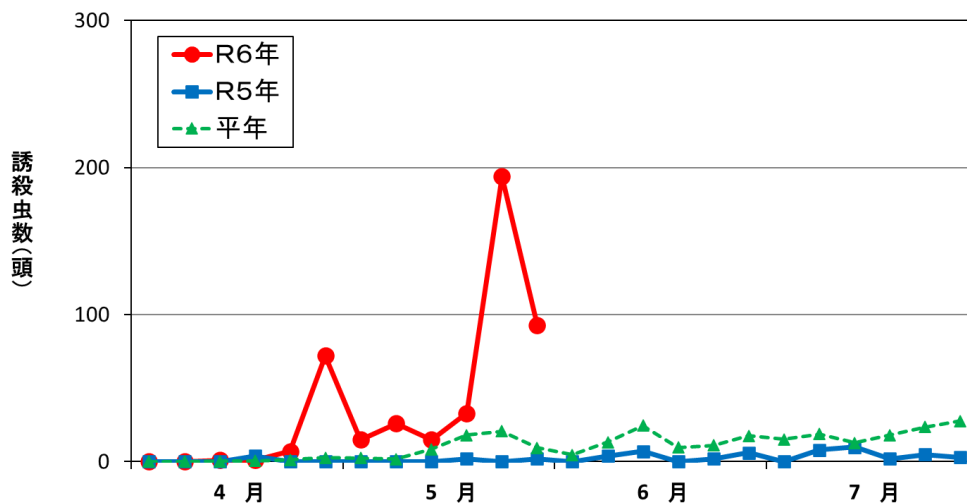


図1 果樹カメムシ類の予察灯誘殺数(県内3か所合計)

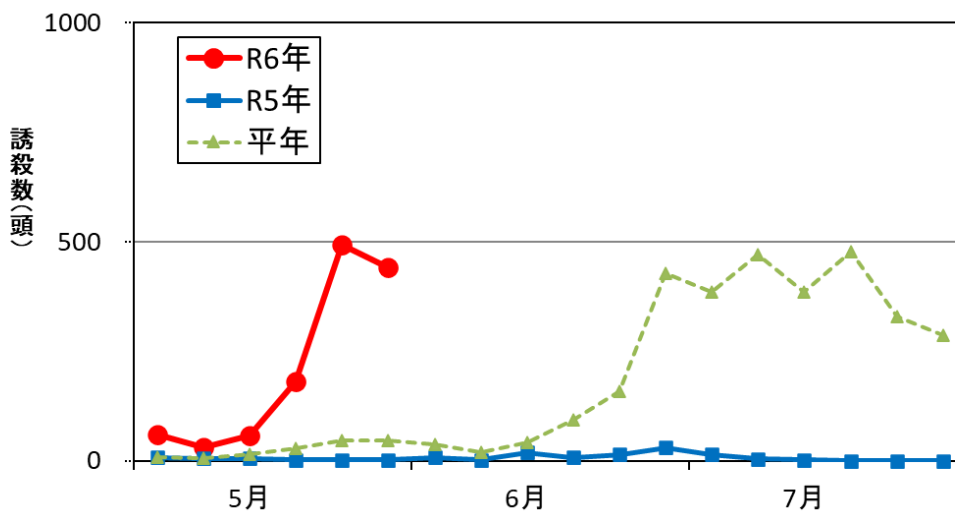


図2 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数(県内4か所合計)

(主要な果樹カメムシ類)



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ

(果樹カメムシ類の被害)



ナシの被害



モモの被害

表 カメムシ類に登録のある主な薬剤

(令和6年6月6日現在・山口県病害虫防除所作成)

殺虫剤 コード (系統) ※1	農薬名	登録のある作物および使用方法						残効期間 ※2 (被害防止効果)
		カンキツ	ナシ	モモ	リンゴ	カキ	キウイ フルーツ	
4A (ネオニコ チノイド)	アクタラ 顆粒水溶剤	2,000倍 14日前 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 7日前 2回以内	2,000倍 3日前 3回以内		10日程度 * アドマイヤー 顆粒水和剤は 1,000倍の場合、 残効がやや 短くなる
	アドマイヤー 水和剤		1,000倍 3日前 ※3 2回以内	1,000倍 3日前 ※3 2回以内		1,000倍 7日前 ※3 3回以内		
	アドマイヤー フロアブル	2,000～ 5,000倍 14日前 ※3 3回以内		5,000倍 3日前 ※3 2回以内			2,000倍 前日 ※3 2回以内	
	アドマイヤー 顆粒水和剤 *	5,000～ 10,000倍 14日前 ※3 3回以内	5,000～ 10,000倍 3日前 ※3 2回以内	5,000～ 10,000倍 3日前 ※3 2回以内	5,000倍 3日前 ※3 2回以内	5,000～ 10,000倍 7日前 ※3 3回以内		
	アルバリン (スタークル) 顆粒水溶剤	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	2,000倍 前日 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	
	ダントツ 水溶剤	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 7日前 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	2,000～ 4,000倍 7日前 3回以内	2,000～ 4,000倍 前日 3回以内	
3A (ピレスロ イド)	テルスター 水和剤	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 2回以内	1,000倍 14日前 2回以内		1,000～ 2,000倍 14日前 2回以内		10日程度
	テルスター フロアブル	3,000～ 6,000倍 前日 3回以内	3,000～ 6,000倍 前日 2回以内	3,000倍 前日 2回以内	3,000倍 前日 1回以内	3,000～ 6,000倍 3日前 2回以内	3,000倍 前日 2回以内	
	マブリック 水和剤20	2,000～ 4,000倍 45日前 ミカン21日前 2回以内	2,000倍 30日前 2回以内			2,000～ 4,000倍 30日前 2回以内		
	アグロスリン 水和剤	2,000倍 7日前 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 3回以内	1,000～ 2,000倍 前日 5回以内		1,000～ 2,000倍 前日 3回以内		
	アディオ ン乳剤	2,000倍 14日前 6回以内	2,000倍 前日 2回以内	2,000倍 7日前 6回以内		2,000～ 3,000倍 7日前 5回以内		
	アーデント 水和剤		1,000倍 7日前 3回以内	1,000倍 前日 3回以内		1,000倍 7日前 3回以内		
1B (有機リン)	スミチオン 水和剤40		800～ 1,000倍 (有袋)14日前 (無袋)21日前 6回以内	800～ 1,000倍 3日前 6回以内	800～ 1,000倍 30日前 3回以内	800～ 1,000倍 30日前 3回以内		1～2日
28 (ジアミド)	テツパン 液剤		2,000倍 前日 2回以内	2,000倍 前日 2回以内	2,000倍 前日 2回以内	2,000倍 前日 2回以内		
2B (フェニル ピラゾール)	キラップ フロアブル				2,000倍 14日前 2回以内	2,000倍 7日前 2回以内		7～10日

※1 数字と記号はIRAC(殺虫剤抵抗性対策委員会)による作用機構分類コード

※2 残効期間は他県、日本植物防疫協会およびメーカーのデータを参考に作成した。
あくまで目安であり、天候などの条件で短くなる場合がある。

※3 ただし、露地の場合は発芽期から開花期を除く